

沙流川におけるヤマメ生息数の推移

(天塩川流域委員会PPT資料に今回一部追加)

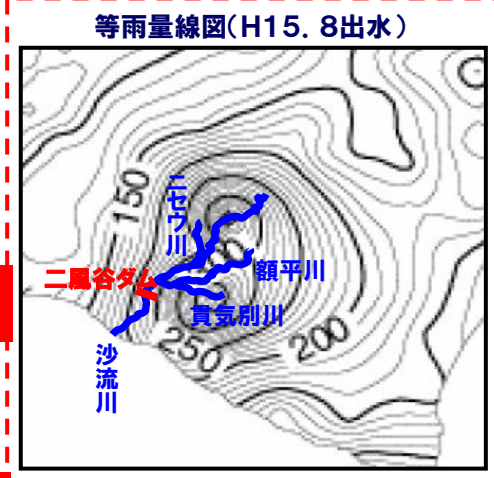
大きな出水があった場合(平成元年11月、平成4年8月・12月、平成9年8月・11月、平成13年9月、平成15年8月、平成18年8月)、翌年のヤマメ生息数が少ない傾向にある。

・毎年6月に実施している生息密度調査(尾/m²)から沙流川の本数を推定

沙流川におけるヤマメ推定生息数(尾)

年度	二風谷ダム上流支流域				二風谷ダム下流支流域
	額平川	貫気別川	ニセウ川	計	
H2	440	834	686	1,960	-
H3	4,330	2,215	7,604	14,149	-
H4	554	6,349	2,473	9,376	-
H5	2,309	355	1,535	4,199	-
H6	3,194	31,185	10,209	44,588	-
H7	1,342	24,542	5,815	31,699	-
H8	562	14,340	959	15,861	-
H9	437	36,849	12,225	49,511	12,432
H10	1,346	690	2,167	4,203	2,465
H11	743	0	2,796	3,539	1,342
H12	639	1,343	1,938	3,920	9,293
H13	322	908	7,922	9,152	2,811
H14	725	0	1,949	2,674	1,295
H15	2,336	1,125	7,913	11,374	10,552
H16	228	0	440	668	955
H17	889	0	1,287	2,176	5,360
H18	263	59	2,060	2,382	2,033
H19	83	0	878	961	584
H20	900	0	18,500	19,400	17,700
平均(H2~H8)	1,819	11,403	4,183	17,405	-
平均(H9~H20)	743	3,415	5,006	9,163	5,569

二風谷ダム完成後



平成元年 11月出水
平成4年 8月・12月出水
平成9年 8月・11月出水
平成13年 9月出水
平成15年 8月出水
平成18年 8月出水

今回追加



※H20推定生息数は速報値であり変わる場合があります。

貫気別川におけるヤマメの減少要因

(天塩川流域委員会PPT資料)

- 貫気別川においてヤマメの推定生息数が平成10年に減少しているのは、
 - 平成9年8月出水による頭首工部の落差の増大による親魚の遡上障害。
 - 続く越冬初期(平成9年11月)の洪水による卵及び仔魚へのダメージ。
 の2点が原因と考えられる。
- その後も、平成13年、平成15年の相次ぐ出水により、施設、河道が被災を受ける。
- 現在は、災害復旧により、魚道などの施設は復旧している。

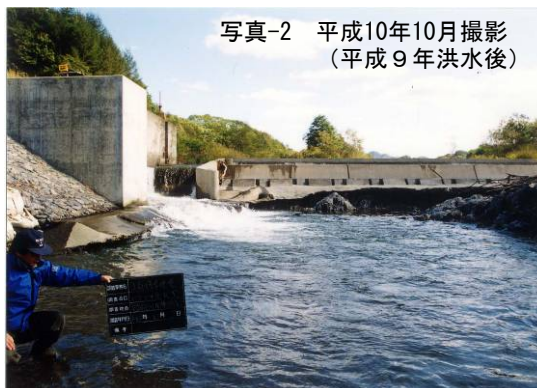


写真-2 平成10年10月撮影
(平成9年洪水後)



写真3 平成11年10月撮影
(頭首工下流部復旧)



写真4 平成15年5月撮影
(固定堰に魚道整備)



写真-5 平成16年6月撮影
(平成15年8月洪水で被災)



写真-6 平成18年5月撮影
(施設の復旧)